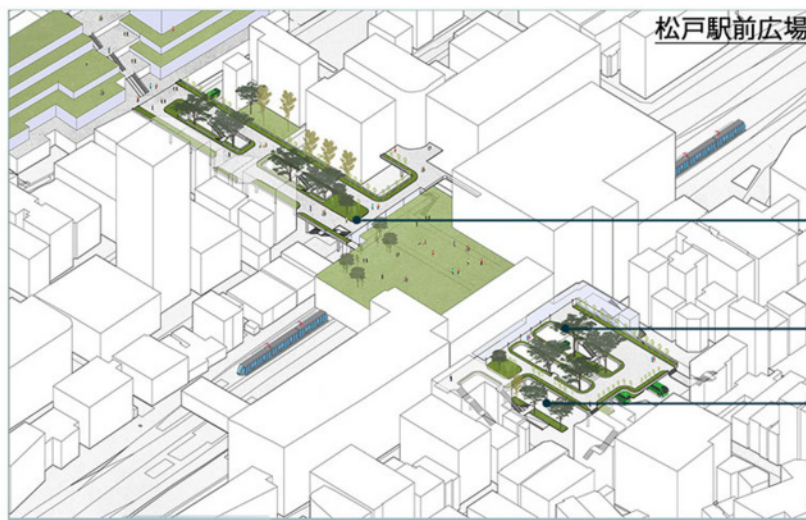
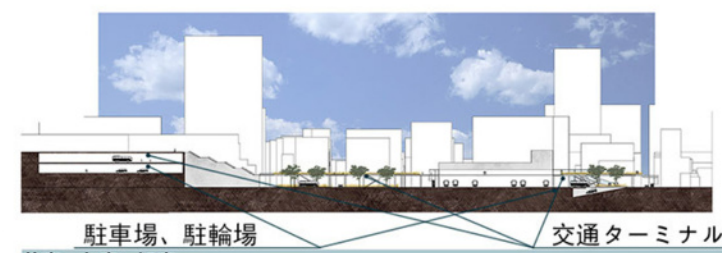
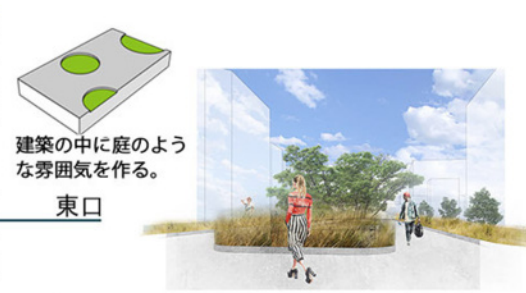
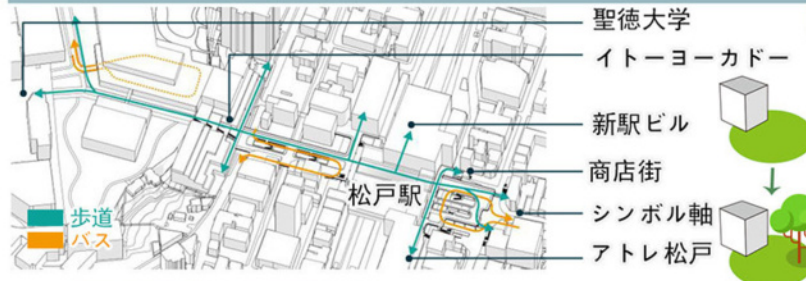


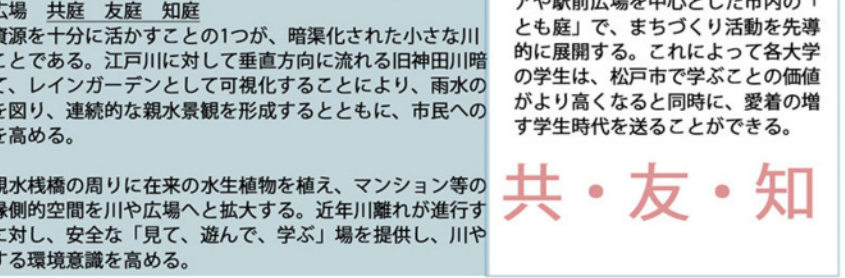
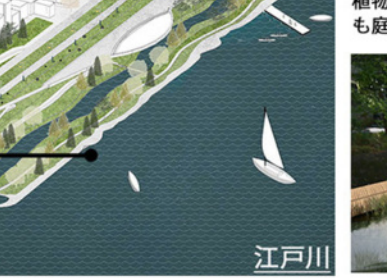
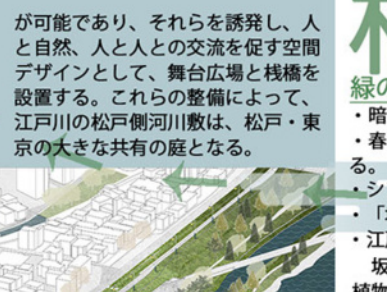
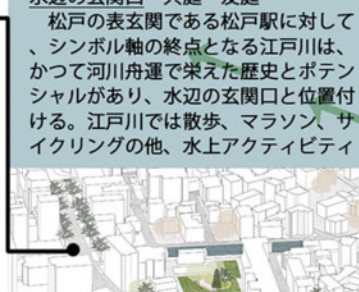
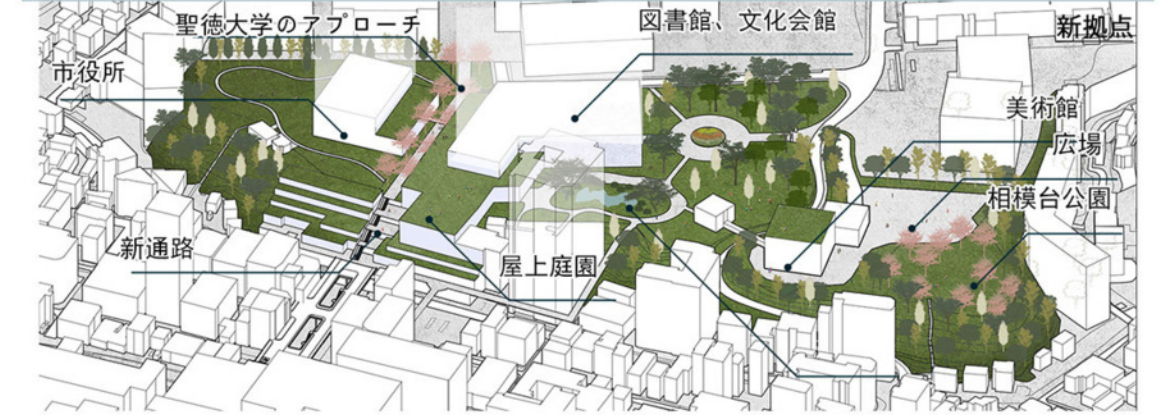


松戸駅前広場 共庭
緑が非常に乏しい駅前において、「園芸学 また、バスターミナルの整備が不十分な駅東口部があるまち」としてふさわしい表玄関とな において、駅から新拠点に至る建築を整理し、
るよう、ボリュームのある植栽を行う。 その軸線方向上に新バスターミナルをつくる。



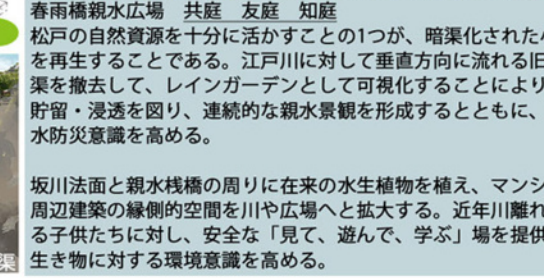
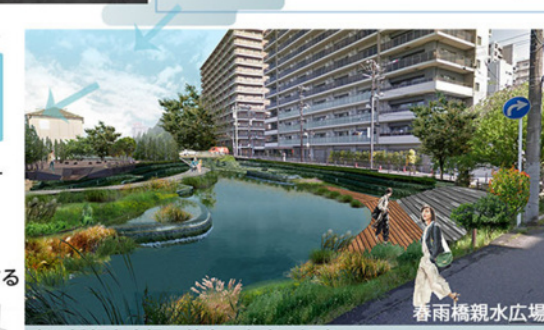
庭に建築を分配して、
機能性を与える →新拠点

共庭 友庭 知庭
松戸中央公園と相模台公園を一体的にリニューアルし、その中
に今までバラバラに配置されていた図書館、市民会館、市役所な
どの公共施設を一か所に集約する。公共施設上からは松戸のま
ちを見晴らすことができ、自分たちが暮らすまちへの愛着を深め
ることができる。
松戸駅から新拠点エリアに至るアプローチは、現イトーヨーカ
ドー・プラザを半地下化及び緑化することで、相模台のランド
スケープを顕在化させ、人々を台地上へと誘う。また、台地上の
聖徳大学まで至るアプローチは、大学の正門の軸線に合わせ、桜
を植栽する。



松

緑のガイドラインを作る
・暗渠を撤去する。
・春雨橋親水広場で住民による植物を栽培する。
・シンボル軸の緑で並木道を作る。
・「坂川木道橋」を再整備する。
・江戸川を利用して、「親水空間」を作成する
坂道と親水栈橋の周りに植えた植物を整備して、周辺建築の緑側も庭園に拡大する。



市内大学との連携・交流
松戸市では、現在千葉大学、聖徳大学、流通経済大学と包括連携協定を締結している。市内にキャンパスがあり、まだ協定が締結されていない日本大学松戸歯学部とも協定を結び、市と各大学、及び大学間の連携を強化する。さらに現在、松戸市役所隣にある「松戸まちづくり交流室テント小屋」を基盤として、市内各大学や松戸市、地元コミュニティ団体等を加えた「(仮称) 松戸まちづくり地域・学生交流室」を設立し、新拠点エリアや駅前広場を中心とした市内の「とも庭」で、まちづくり活動を先導的に展開する。これによって各大学の学生は、松戸市で学ぶことの価値がより高くなると同時に、愛着の増す学生時代を送ることができる。

共・友・知